

Physavie

熱老化防御成分（植物由来の熱による炎症抑制）

- 肌ストレスには、紫外線・PM2.5などの汚染物質の他に、赤外線が注目されています。地球温暖化の加速により、室外の高温化も懸念されており、外気温がもたらす肌への影響も懸念されております。
- Physavieは皮膚に赤外線が照射された時に反応する炎症因子の産生を抑制します。
- Physavieは赤外線による肌温の急激な上昇を抑える効果が期待できます。
- 油溶性エキス／ECOCERT・COSMOS認証



CHEMYUNION

1. 表示名称

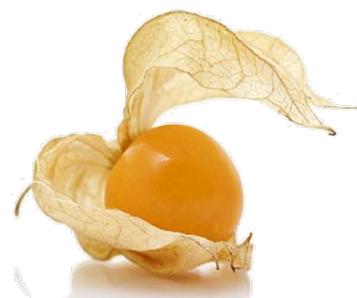
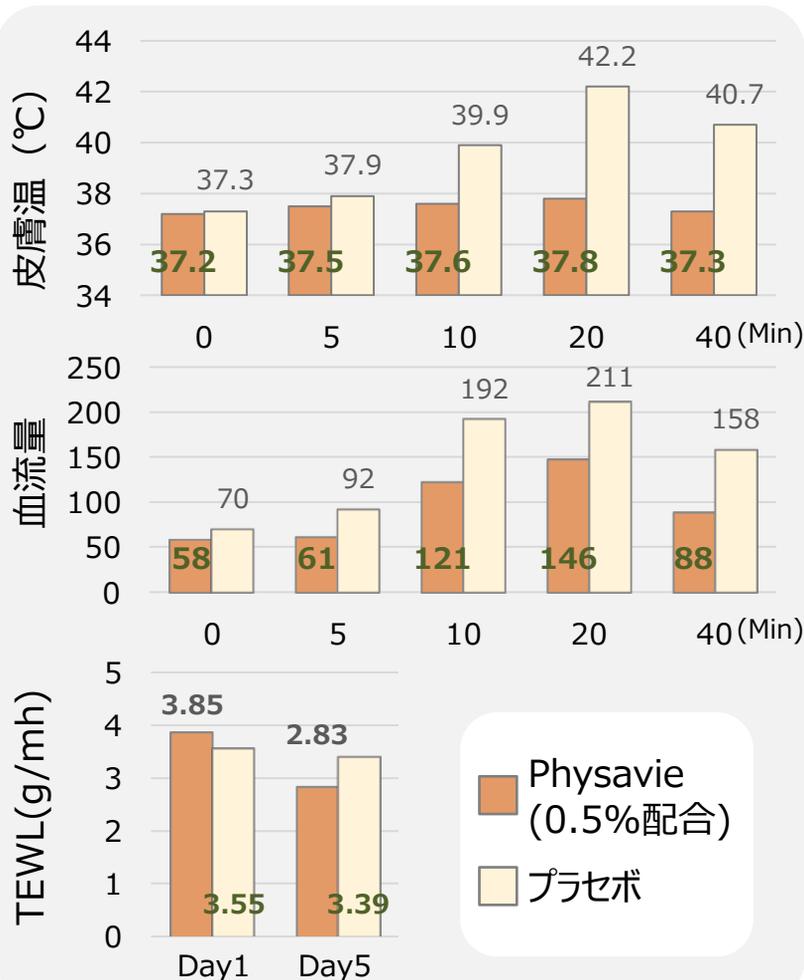
製品名	主な成分表示名称	INCI名	中文INCI
Physavie	センナリホオズキエキス	Physalis Angulata Extract	毛苦蕒（PHYSALIS ANGULATA） 提取物

2. 期待される効果効能

- 抗炎症／TEWL改善
- 肌温度の急激な上昇抑制

3. 製品の機能性

■ 臨床試験（短期的な肌温・血流の変化とTEWL）



センナリホオズキ



左図の臨床試験での結果は、下記の条件で実験を行った。

- ・対象者：33名ボランティア(18～60歳)
- ・試験体：0.5% Physavie含有クリーム
- ・比較：プラセボ
- ・期間と回数：1日1回、5日間毎日
- ・皮膚温と血流量を測定する時は、0.1%ニコチン酸メチル（刺激物）を塗布

Physavieを連続塗布することで、肌の耐性が高まり、ニコチン酸メチルの刺激による血流量の上昇を抑えることが分かった。急激な血流量の変化を抑えることで、皮膚温を維持できたことが分かった。TEWLも改善する。

他にも赤外線や可視光によって誘発される炎症因子に対する試験データや、鎮静効果のデータを取得しています。詳しくは、弊社営業までお問い合わせください。

お問い合わせ先：東亜化成株式会社
(本社住所) 大阪市中央区高麗橋3-4-10
TEL: 06-6201-5131
Mail: toa@toakasei.com